

# TIME TO TAKE ACTION!

さあ、はじめよう。いまこそ、行動するとき。



- 経験を分かち合う空間と時間を創ろう。セクシュアル・リプロダクティブ・ライツの実践の努力と、直面している侵害についてコミュニティのメンバーが証言することができるリプロダクティブ・ジャスティスを語る安全な空間を創ろう。
- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツを擁護する権利への侵害を文書化しよう。WGNRRはこれらの事案を集めて、国連の特別報告者に報告します。
- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツとジャスティスについて女性団体、保健専門者、政府担当者、一般市民のなかでの意識を喚起するため、公の議論や会合を開催しよう。
- リプロダクティブ・ジャスティスについて各地域での要求内容への注目度を高めるため、デモ行進、旗や横断幕などのバナー作成、ポスターや知恵を公開する情報スタンド、呼びかけがわかる詩などを作りあうポエトリー・スラム、路上での即興劇、内容を伝える落書きアート、写真展示、美術展覧会などで、公にする行動を組織化しよう。
- 世界中のセクシュアル・リプロダクティブ・ライツの擁護者と連帯して国際的な協力行動の要請に参加しよう。とくに、2月4日のアフリカ・女性のセクシュアル・リプロダクティブ・ライツ・デー、5月28日の国際女性の健康デー、9月28日のラテン・アメリカ、カリブ海地域の中絶非犯罪化デー、11月29日の女性の人権の擁護者の日、11月30日は南アジアの女性デーです。

**Women's Global Network for Reproductive Rights (WGNRR)**  
**Red Mundial de Mujeres por los Derechos Reproductivos (RMMDR)**  
**Réseau Mondial de Femmes por les Droits Reproductifs (RMFDR)**  
Coordination Office  
13 Dao Street, Project 3, Barangay Quirino 3-A Quezon City, 1102 Philippines  
Tel.+ 63 (2) 913 6708 Telefax: + 63 (2) 7093193  
Email: office@wgnrr.org; admin@wgnrr.org

[www.wgnrr.org](http://www.wgnrr.org)

Call for Action 2011



リプロダクティブ・ライツを  
たたえ、  
リプロダクティブ・ジャスティスを  
実現しよう。  
**Recognise  
Reproductive Rights,  
Mobilise for  
Reproductive Justice!**

この呼びかけと行動は、複数年にわたるものです。Women's Global Network for Reproductive Rightsが、Women's Human Rights Defenders International Coalitionと協力して、女性に対する暴力反対行動の16日間（11月25日から12月10日）に立ち上げた複数年キャンペーンです。2010、2011年の焦点は、安全で合法的な人工妊娠中絶と、強制的な不妊化や強制的な中絶をなくすことに焦点を当てます。その後のキャンペーンは、セクシュアル・リプロダクティブ・ライツ（人権の権利）を個人の人権として守り掲げて、セクシュアル・リプロダクティブの権利と公正の実現に向けて、継続している闘いに焦点を当てます。

[www.wgnrr.org](http://www.wgnrr.org)

多種多様な要素を持つ私たちは、次のことが実現する時代を目指して活動しています。

- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツが普遍的な個人の人権として尊重される。
- 私たちすべてが、私のジェンダー、私の身体、私のセクシュアリティ、自分と家族の健康について自律的な意思決定ができるよう社会的、政治的、経済的な力と資源を持ちます。
- 安全で合法な中絶サービスと中絶後ケアが、政府の支援によって完全に継続的に提供され、中絶サービスの情報を知り、その負担が少なく、利用できる。
- 安全な中絶サービスを知って利用した人、安全な中絶サービスを提供した人、安全で合法な中絶への権利を擁護した人が社会的烙印を押されることなく、犯罪者とされることがなくなる。
- 人口政策、強制的な不妊化、強制的な中絶、禁欲を押し付けられることがなくなる。私たちの誰もが、公的に、普遍的な保健ケアと安価なジェネリック薬にアクセスできる。
- ジェンダーに基づく暴力やセクシュアル・ハラスメント、軍隊や、民兵や、武装した占領軍のせいで被るものも含めてその他の人間の統合性の侵害がなくなる。
- 私たちのすべての社会で公式・非公式の教育の中で、あらゆる可能性と広がりをもった性教育を提供し、他の機関や有力者による妨害がなく、社会的な烙印に晒されない。
- 国家が、国際的にも地域的にも人権のありようを熟知して、人権を尊んだ義務を実現し支持する
- 個人の人権としてのセクシュアル・ライツとリプロダクティブ・ライツの尊重へ向けての、政策、法律、現実に対する長期間の挑戦的取組みをすすめる。



私たちは、暮らしや地域の内外で、リプロダクティブ・ジャスティスの実現に向けて、ともに学び連携し、つながりあう。

リプロダクティブ・ジャスティスは、私たちの社会の内外のセクシュアル・ライツとリプロダクティブ・ライツに関連する幅広い闘いに関心を含みます。この課題に関する社会的烙印、恥、沈黙への対応や挑戦を含むものです。

- 私たちが経験している不正義と人権侵害の強さは、私たちの社会的、経済的、政治的、文化的、地理的位置と直接関係しているという認識をもつ。
- 個人の権利から家族のさらなる健康と持続可能なコミュニティに焦点を移行しつつ、このような構造的な不正義を挑戦し変革するための私たちのコミュニティの組織化をする。
- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツが侵害されてきた人々からの信頼を得る。

なぜ私たちは、セクシュアル・リプロダクティブ・ライツを掲げ擁護するのか。

世界では次のようなことが起きています。

- 妊産婦死亡の多さ。とくに、都市の貧困層、人種・民族的に周縁化（端に追いやられた）された人々、人里から離れた集落の人々の妊産婦死亡の多さ。
- 女性の中でのHIV/AIDSの感染拡大と、陽性者のセクシュアル・リプロダクティブ・ライツの尊重の欠如。
- 安全な中絶と中絶後ケアに対するアクセスの制限（処罰を伴う）、サービスを提供した人が安全でなくなるなどの個人的な安全に対する度重なる侵害。
- 低所得層、特定の被差別人種、障害のある人、HIV陽性者、その他社会の中心からはじき出されたコミュニティの人たちを狙い撃ちにした、強制的な不妊と避妊プログラム。
- セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスへの国際援助の減少と、国家予算割り当ての減少。
- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツに関連する政策、法律、プログラムの進展を阻止しようとする宗教的、文化的団体からの圧力
- 私たちのセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスへのニーズをみたく、安価なジェネリック薬へのアクセスを妨げる抑圧的な貿易規制。
- 受益者負担を課したことによる高額なセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・サービス
- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツの擁護者に対する社会的差別、時に犯罪化。
- 軍事化された、紛争後の、難民の、移民のコミュニティや、セックス・ワーカー、HIV陽性者、障害者、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・インターセックス・トランスジェンダー・クィアなどに対する性的およびジェンダーに基づく暴力の多さ。

女性の権利、健康への権利、セクシュアル・リプロダクティブ・ライツ、人権、社会的・経済的公正を目指す運動の一員として私たちは、国連、国際機関、各政府に次のことを求めます。

- 国連と地域の人権についての枠組と、セクシュアル・リプロダクティブ・ライツを認める近年の権利の枠組みを促進し、支持すること。
- セクシュアル・リプロダクティブ・ライツを含め、人権を侵害する法律や政策を撤回すること。
- 安全な中絶サービスの提供者やこれらのサービスへのアクセス権を求め、役に立っている伝統的産婆を処罰し、差別することをやめること。
- 強制不妊化政策や禁欲させるプログラムへの支援を停止すること。
- 公的保健・教育予算を制限する「貧困削減戦略プログラム」や、類似の構造調整や債務完済計画を課すことをやめること。
- 環境破壊を招くプロジェクト、避妊や中絶サービスの安全な条件に制約を課す政策など、すべてのリプロダクティブ・ヘルスと公正への侵害をやめ、反対すること。

